



## E ボート乗船 110 人が楽しむ ～坂川鯉のぼりまつり～ 井崎市長も来訪、ボート初体験に挑戦

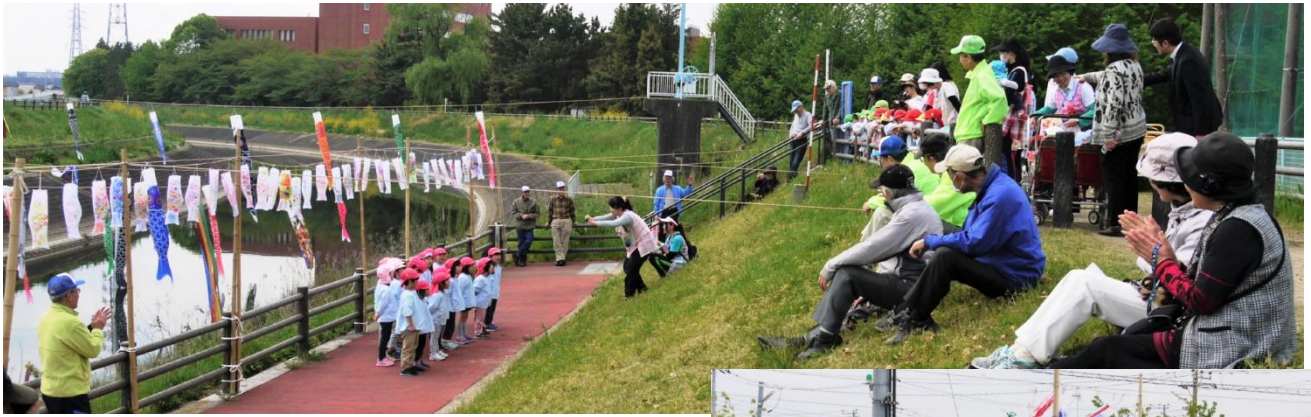
坂川の春の風物詩となった「坂川鯉のぼりまつり」は、今年も4月27日から5月7日まで宮園の坂川で開催されました。坂川を横切る7本のロープに約70匹の鯉のぼり、水辺の遊歩道沿いの手すりに沿って、子どもたちが思い思いに着色した“塗りえ鯉のぼり”が100

匹、そして土手の昇り口に大小の鯉のぼり約40匹が坂川の風に泳いで、普段の坂川の水辺とは全く異なる雰囲気を作り出しました。

期間中の5月5日には、Eボート乗船会が催され、その出発式には井崎市長も来訪、挨拶の後に自らも乗船を初体験しました。宮園から鱈ヶ崎までの往復コースを楽しんだ人が110人を超すほどの盛況でした。乗船会には、流山カヌー協会のメンバーがインストラクター役として協力。また、土手の上では、柏餅や野菜などの売店も開店しました。

### 冊子「坂川と人々の暮らし」

市民の会は、冊子「坂川と人々の暮らし」を3月に発行し、八木南小、鱈ヶ崎小など流山・松戸市内の坂川に近い小学校5校に50部ずつ寄贈しました。坂川の歴史から現状までが分かりやすく書かれていると好評で、県立千葉中央図書館からも納本の要請がありました。希望者には宮園自治会館で配布しています。



## 宮園保育園の園児ら 「こいのぼり」を合唱

会場を彩った“ぬりえ鯉のぼり”は、ほかではあまり見られない「坂川鯉のぼりまつり」の大きな特徴です。これには地域の子もたちや宮園保育園の園児も参加しています。

オープニングが行われた4月28日、宮園保育園の園児が会場を訪れ、一人ひとりが自分で色を塗った鯉のぼりを見つけては大喜び。保育士さんに写真を撮ってもらった後、整列して童謡「こいのぼり」を合唱しました。「やねよ〜り たか〜い こいのぼ〜り〜」の元気な声に、集まった住民からは盛んな拍手がわきました。



(上) 合唱する園児ら (下) はしゃぐ園児ら

## 井崎市長 「川の上は爽快そのもの」



5日のEボート乗船会には、井崎流山市長が来訪されました。出発式の挨拶で市長は、「みやぞの野鳥の池と坂川は6年前に流山市と国とで整備したが、その後地域の方々の努力で、この水辺環境が綺麗で快適に維持され、この様なイベントにも活用されているのは、市としてたいへん有難い。高齢化の下での活動は容易ではないと思うが、今後がんばって続けていきたい」と激励しました。

その後、市長はライフジャケットをつけてEボートに乗り、風に泳ぐ鯉のぼりを下から眺めながら、坂川の水上市験を初めて楽しみました。ボートから降りた市長は、「川の上の風は爽快そのものですね。思っていた以上に、Eボートは安全だし、快適でした」と感想を話していました。



(上) 挨拶する井崎市長 (下) ボートの市長

### “芝桜咲かせ隊” もう少し応募者が足りません

住宅地「宮園」のシンボル・芝桜を、みんなの協力で維持しましょう。問合せ等は馬場 (2-3-13 ☎7159-0252、久谷 (2-14-12 ☎7159-8968) へ。